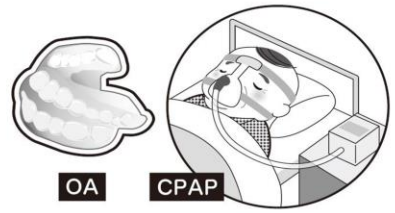


睡眠時無呼吸症

の治療における医療連携の実際



睡眠時無呼吸症候群の類型のうち、上気道の閉塞に起因する閉塞性睡眠無呼吸（obstructive sleep apnea：OSA）は実地医家ではしばしば遭遇します。実際の治療では生活習慣の改善による肥満の軽減とともに、持続陽圧呼吸療法（CPAP療法）による在宅機器治療や外科的治療のほか、2004年から保険適用となった口腔内装置（oral appliance：OA）を用いた治療もあります。

CPAP療法が、保険診療で認められるには一定の要件があり、各病態に応じて他の治療選択や併用も必要となります。また、OAでは実践的な医科・歯科連携が必要であり、日頃からの関係構築が不可欠です。さらに、患者の経済的負担の問題や装置・機器や器具の管理、および簡便性、携帯性などの実臨床における問題も内包しておりその点でも連携は不可欠です。今回は、OSAの『医科歯科・病診連携』を実践されている3人の講師をお招きし、ご参加の先生方の日常実診療に役立つ内容となるよう企画しました。皆さま、奮ってご参加ください。

講師	医科	歯科	協会の取組み
	成井 浩司 先生	古畑 升 先生	山本 鐵雄 先生
	港区／ 虎の門病院 睡眠呼吸器科 部長	港区／古畑歯科医院／ 古畑いびき睡眠呼吸障害研究所	大田区／山本歯科医院／ 東京歯科保険医協会 副会長

「透析患者に対する口腔ケアの取り組み
— 当院と鶴田クリニックとの連携報告」

川島 正人 先生 板橋区／
山崎歯科口腔ケアクリニック 院長

日時 **12月4日(日) 16:00-18:40**

※ 終了後に懇親会を開催します(会費別途)

参加費 **無料** 定員 **150名**

※ 会員の方は各協会にご相談ください
※ (事前予約制) 定員に達し次第、お申込みは終了します。



「CPAP 機器」および「OA 装置」の展示も行います
(開催前 15:00 ~ 予定)

FAX : 03-3209-9918

..... 12月4日研究会の事前申込用紙

会員名 : _____ (会員番号 : _____)

医療機関名 : _____ (TEL : _____)

参加人数 : _____ 名 (会員以外の方の氏名 : _____ 職種 : _____)